

可能性を伸ばし 生きがいを持てる 文化のまち



太平山自然学習センターの建設や中央公民館の移転などにより、市民のニーズに応じた学習の場を提供します。

太平山自然学習センター 8月オープン!

太平山リゾート公園内に建設中の「太平山自然学習センター」が、いよいよ8月22日にオープンします。
 予算 3億9980万円
 (建設費: 3億460万円
 管理費: 9520万円)

中央公民館が秋田ニュー シティ内に移転します

気軽に立ち寄れて、利用しやすい複合施設として、中央公民館と女性学習センターを、11月1日に大町の秋田ニューシティ5階に移転します。 予算 1億9476万円
 児童生徒の「生きる力」を育む、総合的な学習の時間での体験活動などへの支援として、各小・中学校に1校あたり15万円を助成します。 予算 3542万円
 金足西小学校敷地内に児童館を新設します。 予算 6524万円
 御所野にある弥生時代の集落跡「史跡地蔵田遺跡」を引き続き史跡公園として整備します。今年度は竪穴住居1軒の復元、木柵の一部復元などを行います。 予算 2145万円

江戸時代末期から明治・大正期にかけて土蔵の漆喰白壁に描かれた「饅頭」を実態調査し、記録保存します。 予算 130万円
 平成19年の秋田わか杉国体に向け、八橋運動公園を引き続き整備します。今年度は、多目的グラウンドの整備や球技場メインスタンドの改修などを行います。 予算 8億4467万円

市民活動 男女共生 行政改革

自ら考え 主体となって参加する 開かれたまち



市民ミーティング

市民にきめ細かな情報を提供し、市政に参加する場を増やします。また、市民と協働で事業を進める方向をめざします。

住民票などの 自動発行システムを導入

河辺町、雄和町との1市2町による任意合併協議会を運営します。事務・事業の現況調査や法定合併協議会の設置準備、広報を通じた情報提供などを行います。 予算 1699万円

姉妹都市との交流に関する情報誌の発行や市民間の交流を推進します。また、蘭州市の青少年受け入れとパッサウ市への公式訪問団派遣などを行います。 予算 1238万円

市の政策に市民の意見を反映させるためのルールづくりとなる、「市民公聴条例(仮称)」の制定に向け、準備を進めます。 予算 76万円

窓口での待ち時間の短縮や混雑緩和をはかるため、住民票、印鑑証明書、記載事項証明書の自動発行システムを、8月ころ本庁と秋田駅の市民サービスセンターに導入します。 予算 2386万円
 大町四丁目旭北地区コミュニティセンター(仮称)を建設します。センターには、和室、会議室、多目的ホールなどが整備されます。 予算 5億3453万円

中学校文化フェスティバル 活動の輪を 広げます



昨年の文化フェスティバル

市内の中学生が、合唱や郷土芸能などで交流する「中学校文化フェスティバル」を11月に文化会館で開催します。
 また、生徒が自分たちで企画した活動を全校で実践し、他校の生徒に発表する「中学生サミット」を行います。 予算 101万円



学校の特別教室を地域に開放 すくうる・ コミュニティ21

今年から御所野小学校でも!
 小学校の家庭科室、コンピュータ室などの特別教室を、地域のみなさんに第2・第4土曜日と翌日曜日に開放している「すくうる・コミュニティ21」。川尻小学校に加え、新たに御所野小学校でも実施します。 予算 438万円



男女共生社会を 実現するために

市民の代表者からなる男女共生推進会議を開催し、今後の事業の進め方について検討します。
 新たに、講習会などでテキストとして活用する啓発資料を作成し、市民や職員を対象に、男女共生や市民協働をテーマとした研修会を開催します。 予算 586万円

みんなで盛り上げよう! 秋田市建都400年

初代秋田藩主・佐竹義宣公が久保田城に入城し、今日のまちづくりの基礎を築いてから400年となる平成16年に、秋田市建都400年記念事業を実施します。今年度はイベントカレンダーの作成をはじめ、イベントなどを開催します。詳しくは随時広報でお知らせします。 予算 5114万円



初代秋田藩主・佐竹義宣公が久保田城に入城し、今日のまちづくりの基礎を築いてから400年となる平成16年に、秋田市建都400年記念事業を実施します。今年度はイベントカレンダーの作成をはじめ、イベントなどを開催します。詳しくは随時広報でお知らせします。